



人類に奉仕する
ロータリー



「地域社会にロータリークラブを広げて行こう」 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：ジョン・ジャーム 2800地区ガバナー：長谷川憲治 ガバナー補佐：長沢 一好
会長：寺崎 利彦 幹事：浅野 裕幸
会報・史料委員会 委員長：佐藤 直人 委員：金田 亮一 山田 仁

第2158回例会

2017-1/17(火) 天気(曇り)

□例会場：ホテルキャッスル
□点 鐘：PM12:30 寺崎 利彦 会長

□司会進行 (SAA)：石山 祐介 君
□ロータリーソング：「奉仕の理想」

会長挨拶



皆さんこんにちは、今日1月17日は1995年の朝、阪神・淡路大震災が起こった日です。そして、この日が後に日本のボランティアの日になりました。ロータリークラブとして歴史的にも大変意義のある日に、その後、東日本大震災でも、ボランティアの方の力は絶大でした。なお、今週金曜日 大寒の日には、秋の蕎麦の水浸けのボランティアを

行って参ります。この寒さで、冷たく清水の流れの中で、立春まで浸けてアク抜きをし美味しい蕎麦に成るのです。春、観桜会の頃には寒晒し蕎麦として、皆様に召し上がって頂くまで、協力して参ります。楽しみにして下さい。

さて、小正月ですが、松の内に主婦が忙しくしていたので、ねぎらうという意味で、女正月という地域が有るそうです。2日遅れてしまいました。帰りましたら何時も以上、優しいひと言を掛けては如何でしょうか。

幹事報告

浅野 裕幸 幹事

1. 次週1月24日(火)は通常の例会からプログラムが変更になり、2月18日(土)に行われる、当クラブ担当が担当となるIMの為の準備例会となります。
2. 1月のロータリーレートは1ドル=116円になります。
3. 本日例会終了後、理事会を開催しますので理事の方はよろしくお願ひいたします。

委員会報告

親睦活動委員会 鈴木 正則 君

1月誕生日の会員の方は、伊勢和正君、青山治右衛門君、土肥成二君、鈴木政康君、武田和夫君、堀 是治君、長沢一好君の7名です。



本日の一言

質問 健康の秘訣を教えてください。

「自宅と会社の雪片づけが今の私の健康法になっています。」



宮館 順治 君

ニコニコBOX 土田 貴英 君

- 木村 政則君 本日卓話の職業奉仕委員長の富樫松夫様、よろしくお願ひいたします。
- 伊勢 和正君 1月の誕生日にお花をいただきました。ありがとうございます。
- 青山治右衛門君 先日の新年会では、能楽鑑賞をしていただき、ありがとうございます。
- 金田 亮一君 先日の新年会では、還暦のお祝いをしていただき、ありがとうございます。
- 鈴木 政康君 本日は、誕生日をしていただきまして、ありがとうございます。
- 寺崎 利彦君 本日は、職業奉仕委員長の富樫松夫様、ありがとうございます。
- 土肥 成二君 本日は、誕生日をしていただきまして、ありがとうございます。
- 武田 和夫君 本日は、誕生日をしていただきまして、ありがとうございます。
- 長沢 一好君 72才になりました。誕生日をしていただきまして、ありがとうございます。
- 鈴木 正則君 先日の新年会では、司会をさせていただきました。ありがとうございます。
- 稲村 佳宏君 先日の新年会では、古希のお祝いをしていただき、ありがとうございます。
- 浅野 裕幸君 新年会では、多数のお布施をいただきました。ありがとうございました。

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月 曜 日

山形西 山形イブニング

火 曜 日

山形中央

水 曜 日

山形

木 曜 日

山形北

金 曜 日

山形東



『職業奉仕について』

2800地区職業奉仕委員長

富 樫 松 夫 氏 (鶴岡RC)

皆さんあけましておめでとうございます。只今ご紹介に預かりました地区職業奉仕委員長を仰せつかっております富樫と申します。鶴岡RCに在籍しております。この様な場でお話をする事は中々ありませんでしたので、皆さんにうまく伝わるか心配ですが宜しくお願い致します。

初めに当年度地区職業奉仕委員会の基本的な考えをお話させて頂きたいと思っております。

ロータリーの目的の第2に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする」と掲げています。皆さんご存じの様に第1項はクラブ奉仕、第3項は社会奉仕、第4項は国際奉仕を指しておりますが、今は5大奉仕となっておりますので、青少年奉仕は第4項に含むと言われております。

ロータリーは事業および専門職務に携わる人の集まる会員組織であり、ロータリアンと職業を切り離して考えることは出来ません。但し、最近のRIの方針は職業分類がなくてもロータリーに入会が可能になりました。しかし、今でも、クラブ会員は、自己の職業の代表者としてロータリーに入会、同僚ロータリアンに対しては自己の職業の代表者となり、ロータリアン以外の人に対しては、ロータリーの精神を普及する責務があると思っておりますし、ロータリアンの職業奉仕の基本は「世のため人のために奉仕する心をもって職業を営む」を、日々この基本を実践しなければならないものだと思っております。

皆さんは会社の経営者或いは管理者、専門職種に携わっている人達ですから、常日頃、多かれ少なかれ、自分の会社の経営理念、経営方針をベースに、色々考え行動(実践)していること、商売を発展させる為にどうしたら良いかという事を真剣に考えていること、その事がロータリーの職業奉仕の考え方ということをは是非、皆さんからご理解頂きたいと思っておりますが、但し、そこには理念とか、正しい考え方というものがないかと思っております。それではロータリーにおける理念とは何なのでしょう。ロータリーの目的(綱領)の前文に、「ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」と提起しております。

それでは、ここでいう「奉仕の理念(理想)」とは何を指すのでしょうか。ロータリーの理念には2つあると思っております。そのひとつには「他人のことを思いやり、他人のために尽くす」という「Service above self」「超我の奉仕」で表現される人道的奉仕活動の理念(哲学)であり、第一標語になっております。言葉を換えると、「利己的欲求は最小限にとどめ、最大利他の究極を求め続ける」というロータリーの奉仕理念であり事業や専門職務のリーダーである皆さんは、従業員、同僚、地域社会全体に対して模範を示し、高い倫理基準を推進することのできる立場にあると思っておりますし、仕事に関連したあらゆる交流は、倫理的な行動を奨励する機会となります。皆さんは、日々の仕事において倫理を実践し、奨励する立場におられると思っております。

そしてもう一つは「He profits most who serves best」「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」というモットーで表現される職業奉仕の根幹をなす標語です。この言葉は皆さん耳にタコが出来ないくらいお聞きなっている事ですので、詳細については触れませんが、アーサー・フレデリック・シェルドンがミシガン大学経営学部マスター・コースで専攻した販売学を基本として、自らが設立した学校で20世紀の経営学の基本理念として教えていた考え方を、そのままロータリーが受け入れて、ロータリーの奉仕理念として提唱したものです。自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営めば、結果として継続的な事業の発展が得られるという独自の思考です。この言葉を言いかえれば、細く長く事業を継続することが職業奉仕の考え方と言っても良いのではないのでしょうか。

企業の社会的責任: Corporate Social Responsibility 略称CSRとは、企業が倫理的観点から事業活動を通じて、自主的に社会に貢献する責任のことと説明しておりますが、日本においては、企業や社員による寄付やボランティアといった社会貢献活動と誤解・誤訳・混同されることが多いようですが、CSRは企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆるステークホルダー(利害関係者: 消費者、投資家等、及び社会全体)から要求に対して適切な意思決定をする責任を指すという考えを、ロータリーの奉仕活動と結び付けて見ましょう。

1. 企業の事業分野と関連した寄付を行う: 企業の慈善活動を事業内容と関連した社会問題に向ける。財団並びに米山奨学会への寄付

2. 企業が後援するボランティア・プログラムに従業員の参加: 仕事へやる気高め、企業が持つ社会的価値観を従業員と共有する。クラブ内での社会奉仕等: 鶴岡RCで取組んでいる金峯山登山道整備、香頭ヶ浜海岸清掃

3. 企業の社会的価値観とコミットメントを伝える: ソーシャルメディアやその他の方法を活用する。クラブ内での奉仕活動を新聞、テレビ、ホームページ等で伝える。

この様に奉仕の理念とロータリークラブの活動がマッチングする場があればと思っております。

最近のロータリーは様変わりしてきました。例えば、「奉仕の心と実践に満ちた職業人を育てるクラブから、団体で奉仕事業をするクラブへ」、「一業種一名の原則が数名へ」、「職業を持たない人でも入会可能へ」、更には、昨年の規定審議会では「例会日の減少」、月2回以上可能などです。

私はロータリーにおいて、「変えてはならないもの」と「変えなければならないもの」をはっきり分類しておく必要あると思っております。

まず、絶対に変えてはならないものは「ロータリーの哲学」すなわち「ロータリーの奉仕理念」です。ロータリーの哲学を変えれば、それはロータリーでなくなるからです。

決議23-34には触れませんが、「決議23-34」には、「この哲学はService above selfの奉仕の哲学であり、He profits most who serves bestという実践論理に基づくものである」と明記されております。すなわち、ロータリーの奉仕哲学は、「超我の奉仕」と「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」の二つのモットーであり、この二つのモットーはどんなことがあっても絶対に変えてはならない奉仕理念だと思っております。

変えてはならないものがある一方で、変えなければならないものがあります。組織の管理運営を長年変更せずには放置しておけば、必ず制度疲労を起こして、その組織は衰退の道を進んでしまう。会社しかり、RIやロータリークラブの管理運営も社会変化に適応するように変えていかなければなりませんし、現状維持は衰退だと思っております。奉仕活動はロータリアンの思いつきで選択すべきではなく、社会のニーズに従って実践する必要があります。現代社会では、産業構造の変化、需要供給のバランスの変化、目まぐるしく変わる社会への多様性への順応など、様々な要素によって地域社会のニーズは変化していきます。

その変化に伴って奉仕活動の実践も変化していかなければならないと思っております。

会員の減少によってすべての奉仕団体は存亡の危機に立たされていると思っております。ライオンズクラブ然り、ソプロチミスとも然りそれを打開するためにも、ロータリー固有の奉仕理念は変えてはならないことを再確認し、ロータリーが他の奉仕団体と本質的に違うところは職業奉仕の理念を持っている事、その理念を継続していかなければならないという言葉で今日の話を終りたいと思っております。ありがとうございました。

○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	53名		37名	
前回修正	54名	52名	52名	100%
他クラブでメイクアップされた会員	(山形東) 鈴木 利明 (山形西) 川合 賢助 熊谷 昌和			

※本日の結果は2週間後に報告

※修正は2週間前の結果報告

出席会員数÷算出会員数=出席率

算出会員数とは?

出席義務会員+メイク免除会員の出席者

出席会員数とは?

出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員